

浜松観光ボランティアガイドの会

## 令和4年度 定期総会開催



3年ぶりに開催された全体での定期総会

令和4年度の定期総会が4月18日に会員100名の出席のもとホテルコンコルド浜松にて開催されました。総会の最初に大村真佐夫会長より「当会は、23年前浜松市に来られるお客様のおもてなしの受け皿として浜松・浜名湖ツーリズムビューロー様との連携により82名で設立されました。その後まつり会館、浜松駅、浜松城、犀ヶ崖資料館のガイド等浜松市の観光事業並びに子供たちの学校教育における浜松城を中心とした歴史教育等にも貢献・手助けをさせてもらっています。この1年ボランティア活動の問題より、コロナの問題に心をかき回されました。しかしこれまで会員からの

感染者等の発生は聞いていません。

非常事態宣言等で活動が制約されましたが、各施設での定時活動とまつり会館の団体対象の活動をしました。稼働は浜松城・浜松駅85%等でしたが、それぞれ後半には増えてきました。地域活動は、県民の日・富士山の日イベント等は非常事態宣言等のため中止。小学校対象のふるさと講座や動物園での意見交換等は行いました。

ボランティアガイドの会の組織的な活動は進みましたが、コロナは増えています。マスク・うがい・距離をとること等に心がけ、楽しくガイドをやっていきましょう」と挨拶がありました。

次に来賓の浜松市副市長の長田繁喜様より「平成11年の創立以来心あたまのガイド活動をしていただき感謝します。地域の子供達に対し郷土を知る活動に積極的に取り組んでいただき感謝します。現在コロナ感染者も下げ止まりの状態ですが、ガイド活動の制約の中でご苦労が多かったことと思います。観光地に行って地域の人と触れ合い、話をするのが印象に残ります。地域の人がガイドすることで良い印象を与えることは素晴らしいことです。先週15日に“どうする家康ドラマ館”の起工式を行いました。たびたび浜松を訪れてくれる人を期待して観光振興に力を入れていくのでより一層の協力を賜りたい」との挨拶をいただきました。



来賓の皆様

来賓の浜松市産業部観光・ブランド振興担当部長鈴木秀司様、浜松・浜名湖ツーリズムビューロー常務理事石塚義明様、遠鉄アシスト(株)代表取締役社長河野延之様、浜松まつり会館館長中村敏幸様の紹介がありました。

議事に入り、令和3年度の事業報告、会計決算報告並びに監査報告があり、承認されました。役員改選についての承認の後、新会長の鈴木利雄さんから就任挨拶(2ページに掲載)並びに役員紹介がありました。令和4年度の事業計画(案)、予算(案)並びに会則改正(案)の説明の後、質疑を経て承認されました。ひき続き永年勤続者の表彰があり、15期生3名の方が10年表彰されました。終わりに新入会員18名が紹介され、総会は無事終了しました。 広報部 植田善和(北ブロック)



10年特別表彰の  
益田・鈴木・橋本さん(左から)

# 令和4年度総会に当たり「会員の皆さまへ」



## 前会長 大村真佐夫

平成3年度も前年に引き続き新型コロナに振り回された1年でしたが、各活動拠点の皆様のご配慮と102名の会員諸氏の努力のお陰でコロナに罹ることなく大きなヤマを越えることが出来ました。御礼申し上げます。

活動は、浜松城、浜松駅インフォメーション・犀ヶ崖資料館での定時活動と浜松まつり会館の団体対象の活動をしました。浜松城は前年より36,000人増、浜松駅は横ばい、犀ヶ崖資料館は600人の増。浜松まつり会館は浜松まつり期間と団体16件384人の案内をしました。

地域活動は、事業部の担当ですが、県民の日・富士山の日イベント等は非常事態宣言や、まんえん防止宣言のため中止。参加できず残念でした。

会独自の地域活動は、子供の夏休み自由研究会を浜松城公園で、ふるさと講座を東小学校講堂で昨年引き続き「浜松まつり」をテーマに開催、盛り上がりました。

各専門部活動としては、広報部は、機関紙「はままつ案内人会報」を会の動きや、活動に参考になる内容を工夫し毎月発行。記事内容もわかりやすく進化したと思います。また、HPの更新、報道対応等きめ細かに行き度々報道発表されました。研修部は、新人養成講座の開催、現地研修会、部外講座など文化財課へ講師の依頼をして専門職による会員の知識の向上を図ってくれました。事務局も各分担を決め、各専門部の応援を含め、会の運営に関わるなど活動が出来ました。

会として組織を見たとき、各専門部の組織として行動する形が出来てきたと感じております。これから更なる進化を期待するものです。課題としては、3月から浜松城駐車場が有料化となりました。市の施策であり受け入れざるを得ませんが、今後の行動にあたり大きな課題となります。活動方法の再検討が必要になります。総体的な評価としては、この状況下で課題はありますが「できる範囲」としての活動ができたと思っております。

コロナとの付き合いはまだまだ長く続きます。今後とも手洗い・マスクの着用・うがい等の励行・ソーシャルディスタンスを守り、元気で楽しくお客様に喜んで頂けるよう、柔軟な思考をもったガイド活動が出来ますよう取り組んでいきたいと思います。1年間ご協力いただきありがとうございます。



## 新会長 鈴木利雄

私は、令和4年度の総会で大村会長よりバトンを渡されました。16期生で入会、2年目より令和2年度まで研修部に所属し規約により退部、やれやれとの思いでいたところ、太田副会長が私同様、副会長職の任期満了の為替わりをと鈴木事務局長・大見副会長より要請され、1年間名ばかりの副会長として過ごしてきました。私は大村前会長のように様々なことに詳しくなく、研修部時代は神輿の上に乗っていただけでした。そのような私ですので皆様宜しくお願い致します。

私の入会動機は今から15・6年前何となく法隆寺に行った時のことです。駐車場から歩いている時、「ボランティアガイドですが説明しましょうか」と、話しかけられ思わず「お願いします」と答え、予定時間を聞かれました。

計画して来たのではなかったのでその様に答えましたところ、ではと丁寧に細かいところまで説明下さり、感激して一日を終わりました。又大坂城に行った時も同じようでした。数年後、家内が「広報はままつ」を見てボランティアガイド募集をしているからやってみたらと仰いました。

私達ガイドは、一期一会で老若男女誰にでも気軽に声を掛けても、警戒し怪しまれることもなく「有難う」「楽しかった」「勉強になった」「また来たい」などの言葉で感謝されることで良かったと思う活動です。又、令和5年よりNHK大河ドラマ“どうする家康”が放映されます。たぶん今年の秋ごろより浜松に来るお客様も増えてくると同時に私達の会も忙しくなることが予想されます。出来る範囲で浜松市の観光に協力していくつもりです。どの様なことが出来るのか皆様の意見を運営委員会までお寄せくださればありがたいと思います。ガイドの会はボランティアとはいえ組織です。会員一同各ブロック・各専門部会・運営委員会などの会合では積極的に意見交換し「決まったことは皆さんが守る」これが基本です。私は法隆寺を訪ねた事にもよりますが、聖徳太子の“和を以て貴しとなす”および明治天皇の“万機公論に決すべし”の心で会を運営していきます。宜しく申し上げます。

## 新人現地研修「浜松城石垣と城周辺」



和田さんの説明を熱心に聞く様子

新年度開始早々の4月4日(月)9時から、小雨と桜吹雪の舞い散る中、浜松城周辺における新人研修が行われました。全体は2部構成で、前半9時から浜松市文化財課の和田達也さんによる石垣に関する中身の濃い講義を受け、後半10時から、小グループに分かれて浜松城周辺の重要ポイントを研修部員の説明を聞きながら回りました。新人の24期生は15名(東2名、西5名、南2名、北3名、中3名)が参加し、更に研修部7名、広報部1名、23期生1名の合計24名という大所帯となりました。

和田さんの石垣の説明は、基本的情報からかなり細かなお話まで入っていて、24期生の中には「そんなに覚えられない」と悲壮感を漂わせている人もいました。私自身は21期生ですが、

もちろん覚えていないことも多いので、取材といいつつ、大変勉強になりました。天守台の下の石垣の色が上と下で違うのは、上にあった建物の屋根で日光の当たり具合が違って生じた、と言われていたのも驚きでした。

後半の浜松城周辺散策では、浜松城の広さを歩いて実感してもらいたい、という研修部の思いが伝わってくる内容でした。研修部員の桶田・内山ペア、岩城・頼母木ペア、飯田・藤田ペアの3グループで回り、古山研修部長が全体をフォローしていました。作左曲輪からぐるっと回って、中央芝生広場で災害設備を確認、東照宮でご神木のユーカリに感心した後、玄黙口門跡、下垂口跡、水堀跡などを通ってお城の南側に戻ってきてグループごとに解散となりました。

浜松城の石垣や周辺を詳しく自分の目と足で確認したことによって、24期生の皆さんはいよいよガイドをする、という認識が芽生えてきたようです。小グループで回ったことにより、24期生からより深い質問を受けたり、いろいろ知って驚く様子を見たりして、研修部員の皆さんもかなり手ごたえを感じた研修となったようでした。

広報部 松沼素子(南ブロック)

### いよいよスタート！ドラマ館起工式

2023年NHK大河ドラマ「どうする家康」の大河ドラマ館建設工事の安全祈願祭が、4月15日(金)旧元城小学校跡地(二の丸跡地)で行われました。神事が執り行われた後、施主である鈴木康友市長が「官民連携で大いに盛り上げ、市の経済波及効果も期待したい」と挨拶。また徳川宗家19代目で大河ドラマ館名誉館長の徳川家広氏は「家康が成長した場所である浜松に注目が集まり、賑わいの場となると同時に、新しい浜松に脱皮していくきっかけになればと期待している」と話されました。

青年家康公が築いた浜松城の下、2代目秀忠公誕生の場所ともいわれているこの地に19代目徳川家広名誉館長が立っている様子に悠久の歴史の流れを感じました。幸運にも起工式当日浜松城の当番として臨席でき、いよいよ大河ドラマの準備が始まることに心躍った安全祈願祭でした。



鈴木康友市長による鍬入れ

南ブロック 岩城豊

### 生配信オンライン浜松城桜ツアーに協力

長引くコロナ自粛で外出できないでいる介護施設の入所者の皆さんに向けて配信される「旅介オンラインツアー」。浜松城が選ばれ、4月4日(月)14時から1時間「桜ツアー」が生配信されました。桜まつりの提灯が残る中、黒鉄門跡をスタートに見どころをリハーサルで再確認して、本丸跡・富士見櫓跡・天守閣地下井戸と研修部の杉本忠久さんがおもしろおかしく絶妙な語り口でガイド。チャットによるクイズ爆笑の渦と共に皆様浜松城の桜でそれぞれの春を楽しんでくださったことと思います。



天守閣の説明中

広報部 金原里枝(南ブロック)

★お知らせ★ 当会では、ガイド活動時の制服の一つとしてグリーンのカジュアルで動きやすいユニフォームを新調し、5月1日より気候に応じて着用しています。

## 新入会員の 入会動機

長所は明るくポジティブなところ。お越しいただいた方に楽しかった、学ぶことがあった、ガイドを頼んでよかったと喜んで頂けるようになりたいです。

趣味は、ピアノ・アコーディオンの演奏、韓流ドラマの鑑賞です。 東ブロック 伊藤美也子



奥浜名湖観光ガイドの会に参加して活動丸4年経過しました。直虎ブームでガイドのおもしろさを感じて継続しています。もともと地元の歴史に興味があり浜松のポテンシャルを調べる事が後半人生の楽しみとなりました。二宮尊徳 金原明善 豊田佐吉 本田宗一郎 松島十湖 山岡鉄舟 民俗学の宮本常一、今につながる日本・浜松の生活の礎を作った人々がいて、形がある。400年～500年前のことは物語としておもしろいが諸説いろいろあって、いろいろな歴史、考察があり、自分で思いをめぐらせるのも楽しみ。

仕事は繊維業、農業をしており、改まった趣味はもっていないが、本を読んだり映画を見たり音楽を楽しんだりしている。最近ではコロナで飲みに行けませんがたまに友達と飲むのも楽しみ。

ガイドでは通常の紹介の仕方とそれにまつわるエピソードを加えるのが必要だと感じています。そのネタをどれだけ集めるか楽しみにしています。 西ブロック 松野秀勝

国内の多くのまちを訪ねたり、街道を歩く中で、どの地域でもその地域の資源を大事にしている姿を目の当たりにしてきました。浜松という地域にも同じことが言えるのではないかと考えています。歴史を動かした偉人だけでなく、そこに住んでいた人々の生活や文化などにも興味を持ち、仲間や先輩方々と一緒になって学ぶ機会が欲しいと思ひ応募しました。まずは自分が知ることからスタートだと思ひますが、せっかくならば多くの人に関心を持ってもらえ、そして浜松が好きになってもらいたいと思っています。

磐田市在住ですが、温かく迎えていただき感謝しています。少しでも貢献できるように、頑張りすぎずにできたらと思っています。自己PRとしては、街道歩き、全国の郵便局巡り何事も前向きにとらえられることや臨機応変に振舞えることかな？と思っています。

東ブロック 芥川栄人



浜松市は、来年の大河ドラマ「どうする家康」の放送を機に徳川家康公ゆかりの地である浜松市の魅力を発信していくため、PR ロゴマークを決定しました。当会報についても4月号からこれまで最下欄に使用していた「家康君と直虎ちゃん」の挿絵をこのロゴマークに変更しました。

### 4月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター（浜松駅構内）」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

#### 《浜松城》

複数回来場のあった団体			
*	クラブツーリズム	5回	129名
29日	金	日新航空サービス	11名

#### 《犀ヶ崖資料館》

2日	土	クラブツーリズム	13名
27日	水	磐田市立城山中学校	6名

#### 《浜松まつり会館》

団体ガイド活動はありません

## はままつ案内人会報 238号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会  
〒430-0946 浜松市中区元城町100-2 (浜松城内)  
TEL & FAX 053-456-1303  
メールアドレス mail@hama-svg.jp  
ホームページ http://www.hama-svg.jp/

はままつ案内人

検索



家康公ゆかりの地